

令和6年度第2回鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会

日 時	令和6年10月22日(火) 10:00~11:30
場 所	鹿児島市水道局 2階 大会議室
出席者	鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会委員 10名
市出席者	水道事業及び公共下水道事業管理者、総務部長、水道部長、下水道部長、水道局各課長、関係職員
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 管理者あいさつ 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 水道事業、公共下水道事業及び工業用水道事業の令和5年度決算 (2) 第2期鹿児島市上下水道事業経営計画に掲げる取組事項の令和5年度実施状況 (3) 河頭浄水場(甲系統の浄水施設)更新事業に係る実施方針等 4 その他 5 閉会
主な内容等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上下水道の建設改良事業における計画の進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> → 水道事業については、道路改良や他事業との関係での移設もあり協議に時間を要し、一部計画より遅れる事業や、資機材の入荷の遅れにより年度内に執行できず繰り越しとなる事業もあった。 また、下水道事業については、国庫補助事業が多く、国庫補助金の内示状況により一部先送りをする事業や、水道事業同様に資機材の入荷の遅れにより年度内に執行できず繰り越しとなる事業もあった。 このような状況はあるものの、基本的には上下水道事業ともに当初予算に組んだ建設改良費は、ほぼ執行できていると考えている。 2. 水道管の更新率について <ul style="list-style-type: none"> → 現在0.74%であり、令和3年度末の全国平均0.64%と比較すると上回っている。 3. 料金改定の他都市の状況及び今後の本市水道局の考え方について <ul style="list-style-type: none"> → 中核市、九州県都市の料金改定の状況について調査したところ、令和5年度には中核市6都市、九州県都市2市が料金改定を行っている。第2期経営計画では、令和13年度まで料金は改定しない収支計画としているが、労務単価、資材単価の上昇、収入の状況等を加味して3年ごとにローリングを行うとしているので、その中で判断していくこととなる。 4. 他都市との広域的な研修について <ul style="list-style-type: none"> → 県の広域化プランの中の鹿児島ブロックとして、本局で行う研修に日置市、いちき串木野市についても参加をして頂いて一緒に技術について学んでいる。その他、日本水道協会、日本下水道協会に参加しており、会員同士で、情報共有や訓練を定期的に行っている。 5. 河頭浄水場(甲系統の浄水施設)更新事業に係る浸水対策とユーザーメリットについて <ul style="list-style-type: none"> → 浸水対策については、ハザードマップに基づいて盛土の高さを算出している。ユーザーメリットについては、老朽化が進んでいること、耐震性が乏しいこと、現状のままでは水害の危険性があること、それらを含め更新計画を進めていることから、将来にわたり安定的に給水を受けられることであると考える。